

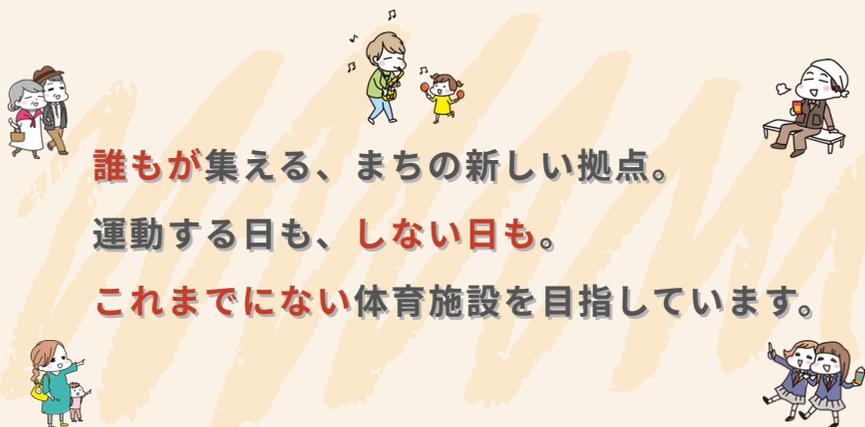
多賀城市では現在、まちの中心部での新しい体育施設の整備を検討しています。今後、事業の進捗や設計の工夫、地域の皆さまとの意見交換の様子などを不定期でお知らせしていきますので、ぜひご注目ください！

Topic01 スポーツウェルネス施設整備事業とは



老朽化が著しい総合体育館、市民プールについて、規模を縮小しつつも機能充実を図る「縮充」の観点を踏まえ、学校プール機能と併せて合築移転を検討し整備するものです。

※「スポーツウェルネス」とは、「スポーツ：運動」と、「ウェルネス：1961年に米国のハルバート・ダン医師が「ウェルネスとは、輝くように生き生きしている状態」と提唱した概念」という二つの言葉の組み合わせです。



Topic02 事業対象地

東北学院大学多賀城キャンパス跡地内

所在地：多賀城市中央一丁目23番及び161番の一部
敷地面積：約14,500㎡

JR仙石線多賀城駅から徒歩約10分
市の中心部に位置し、近隣には市役所・図書館・文化センターなど様々な公共施設が立地しており、事業対象地を含むエリアをミサワホーム（株）が開発予定

▼ミサワホーム（株）による近隣商業エリアのまちづくりイメージ



※イメージパースは構想段階のものであり、今後変更される可能性があります。

Topic03 事業対象地検討の視点

なぜ学院大跡地へ？

✓ 視点① 政策上の視点

- ・だれもが、いつでも、気軽に訪れることのできる拠点施設
- ・図書館、文化センター等との「東北随一の文化交流拠点」としての相乗効果

✓ 視点② 防災の視点

- ・宮城県が公表した津波浸水想定の結果、大規模災害時の指定避難所に指定されている総合体育館が浸水エリアになったことから、浸水想定区域外に移転

✓ 視点③ 交通アクセス性の視点

- ・仙石線多賀城駅から徒歩圏内となりアクセス性向上
- ・各小中学校からも車で10分以内